

宮ノ陣クリーンセンター維持管理データ

1. 処分した一般廃棄物(燃やせるごみ)の量

更新月 : 令和5年1月

項目		12ヶ月											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ごみ処理量													
燃やせるごみの処理量	t	2,555.13	2,767.84	2,598.56	2,645.33	2,750.69	2,687.62	2,779.77	2,568.71				

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度の一酸化炭素(CO)濃度(すべての日平均値の月平均値)

項目	自主規制値	1号炉											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼ガス	—												
測定結果													
燃焼室ガス温度	℃	—	911	909	913	912	914	—	915	916			
集じん器入口温度	℃	—	165	165	165	165	165	—	165	165			
一酸化炭素濃度(1時間平均)	ppm	100	1	1	3	3	3	—	3	3			

項目	自主規制値	2号炉											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼ガス	—												
測定結果													
燃焼室ガス温度	℃	—	912	912	—	909	910	913	912	916			
集じん器入口温度	℃	—	165	165	—	166	165	165	165	165			
一酸化炭素濃度(1時間平均)	ppm	100	3	3	—	3	2	2	1	1			

燃焼ガスの測定結果は、自動分析計で連続的に測定した値の月平均値を算出しています。

測定箇所は、燃焼室ガス温度は燃焼室出口、集じん器入口温度は集じん器入口、一酸化炭素濃度は煙道での測定になります。

燃焼温度を800度以上の高温にして完全燃焼させ、ダイオキシン類の発生を防止しています。また排ガスは、概ね200度以下にし、ダイオキシン類の再合成を防止しています。

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日

項目	1号炉・2号炉 共通
冷却設備、排ガス処理設備	焼却炉の運転中は自動で常時引抜き除去を実施しています

4. ばい煙濃度

項目	規制基準	協定値	1号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばい煙濃度	試料採取日	—				7月13日	8月3日							
	結果の得られた日	—				8月9日	8月25日							
測定結果	窒素酸化物濃度	ppm	250				59	48						
		100												
	硫黄酸化物濃度	ppm	3063				7.9	9.2						
		50												
	塩化水素濃度	mg/m ³	700				5	20						
	約80													
ばいじん量	mg/m ³	0.08				<0.001	<0.001							
		0.01												
排ガス中のダイオキシン類濃度	試料採取日	—	8月22日											
	結果の得られた日	—	9月30日											
測定結果	ng-TEQ/m ³	1以下	0.00068											
		0.05以下												

項目	規制基準	協定値	2号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばい煙濃度	試料採取日	—	4月25日					8月3日		10月7日				
	結果の得られた日	—	5月27日					8月25日		10月31日				
測定結果	窒素酸化物濃度	ppm	250	64				52		57				
		100												
	硫黄酸化物濃度	ppm	3063	7.2				17		13				
		50												
	塩化水素濃度	mg/m ³	700	13				40		25				
	約80													
ばいじん量	mg/m ³	0.08	<0.001					<0.001		<0.001				
		0.01												
排ガス中のダイオキシン類濃度	試料採取日	—	8月23日											
	結果の得られた日	—	9月30日											
測定結果	ng-TEQ/m ³	1以下	0.0032											
		0.05以下												

規制基準: 大気汚染防止法

ばい煙濃度の測定結果は、窒素酸化物濃度、塩化水素濃度、ばいじん量は、酸素濃度12%換算による補正濃度です。

6月に1回、炉ごとにばい煙濃度を測定しています。

試料は煙道から採取しています。